

混合物ID 140xxx
作成日 2025/03/06
改訂日
判定ルール JIS
対応版 GHS 6版

安全データシート (SDS)

化学品の名称 (日本語) ソフトワックス 全色共通
供給者の会社名 株式会社キャンディルデザイン
住所 神奈川県川崎市宮前区有馬8-3-11
電話番号 044-863-9112
推奨用途 木部補修
使用上の制限 用途外の使用は禁止

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
爆発物 分類できない
可燃性ガス 区分に該当しない (分類対象外)
エアゾール 区分に該当しない (分類対象外)
酸化性ガス 区分に該当しない (分類対象外)
高圧ガス 区分に該当しない (分類対象外)
引火性液体 区分に該当しない (分類対象外)
可燃性固体 分類できない
自己反応性化学品 分類できない
自然発火性液体 区分に該当しない (分類対象外)
自然発火性固体 分類できない
自己発熱性化学品 分類できない
水反応可燃性化学品 分類できない
酸化性液体 区分に該当しない (分類対象外)
酸化性固体 分類できない
有機過酸化物 分類できない
金属腐食性物質 分類できない
鈍性化爆発物 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) 区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (経皮) 区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (吸入: 気体) 区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (吸入: 蒸気) 区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト) 区分に該当しない (分類対象外)
皮膚腐食性/刺激性 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない
呼吸器感受性 分類できない
皮膚感受性 分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない
発がん性 分類できない
生殖毒性 分類できない
生殖毒性・授乳影響 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 分類できない
誤えん有害性 分類できない

環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性） 分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性） 分類できない
	オゾン層への有害性 分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物（製品）の 混合物

区別

化学物質・混合物（製品）名 ソフトワックス

称

組成物質（1） 危険物質は含有していません

備考

4. 応急措置

吸入した場合 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合：多量の石鹸と水で優しく洗ってください。皮膚に炎症が生じた場合：医師の診断を受けてください。

眼に入った場合 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察または手当てを受けること。

飲み込んだ場合 飲み込んだ場合：口をすすいでください。嘔吐させないでください。感染した場合、または気分が悪くなった場合中毒センターまたは医師に電話してください。

備考 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察または手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察または手当てを受けること。

5. 火災時の措置

備考

6. 漏出時の措置

備考

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い_技術的対策 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

取り扱い_安全取扱注意事項 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取り扱い_接触回避 吸入したり、目、皮膚、衣類と接触したりしないようにしてください。

保管_安全な保管条件 施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

保管_安全な容器包装材料 材料を移送するときは、蒸気に引火する可能性のある静電気の火花を防ぐために容器を密閉し、耐火花工具を使用してください。

備考

8. ばく露防止及び保護措置

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	個体
臭い	無し
融点・凝固点	該当なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	未決定
可燃性	未決定
爆発下限界及び爆発上限界／	未決定
可燃限界	
引火点	該当なし

自然発火点	未決定
分解温度	未決定
pH	該当なし
動粘性率(100°C)	15mPa・s
溶解度	不溶性
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	未決定
蒸気圧	未決定
密度及び／又は相対密度	0.92g/cm ³
相対ガス密度	未決定
粒子特性	未決定

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の条件下では安定しています。
避けるべき条件	該当なし。
危険有害な分解生成物	特定されていません。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) 既知の成分がすべて区分に該当しない（分類対象外）のため、区分に該当しない（分類対象外）に該当。
急性毒性（経皮）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) 既知の成分がすべて区分に該当しない（分類対象外）のため、区分に該当しない（分類対象外）に該当。
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) GHS定義による気体ではない。
急性毒性（吸入：蒸気）	※本ツールでは、ppmとmg/lで計算を行いますが、判定結果はppmを採用します。 急性毒性(吸入):蒸気:ppmでの計算 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) 既知の成分がすべて区分に該当しない（分類対象外）のため、区分に該当しない（分類対象外）に該当。 急性毒性(吸入):蒸気:mg/lでの計算 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) 既知の成分がすべて区分に該当しない（分類対象外）のため、区分に該当しない（分類対象外）に該当。
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) 既知の成分がすべて区分に該当しない（分類対象外）のため、区分に該当しない（分類対象外）に該当。
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。
呼吸器感受性	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。
皮膚感受性	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。
生殖細胞変異原性	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。
発がん性	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。

生殖毒性	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。
生殖毒性・授乳影響	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。 毒性が未知の成分を100%含有。
誤えん有害性	動粘性率:不明 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。 毒性が未知の成分を100%含有。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 出典:) 方式3: 加算法 (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が0%であり、濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当。 方式1=分類できない、方式2=分類できない、方式3=区分に該当しないより区分に該当しないに該当。 毒性が未知の成分を100%含有。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=100% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=不明 出典:) 方式3: 加算法 (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が0%であり、濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当。 方式1=分類できない、方式2=分類できない、方式3=区分に該当しないより区分に該当しないに該当。 毒性が未知の成分を100%含有。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
オゾン層への有害性	分類できない: CAS番号:なし(含有率=100% 出典:) データ不足のため分類できない。
備考	

13. 廃棄上の注意

環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
残余廃棄物（化学品）	廃製品・廃容器は産業廃棄物として処理する
汚染容器及び包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
備考	

14. 輸送上の注意

国際規制	
国内規制がある場合の規制情報	海上規制情報 航空規制情報 陸上規制情報
緊急時応急措置指針番号*	

* 北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「Emergency Response Guidebook (ERG)」(一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている(発行元:日本規格協会)に掲載されている。

備考

15. 適用法令

備考

16. その他の情報

備考

[免責]

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠して作成しております。改訂日における最新の情報に基づいていますが、すべての情報を網羅しているものではありません。まだ知られていない危険有害性を有する可能性がありますので、取り扱いの際はできるだけ安全確保に努め、ばく露を避けるよう十分ご注意ください。